

公益社団法人 自衛隊家族会 発足

謹賀新年



自衛隊家族会会長 伊藤 康成

2017年の展望

明けましておめでとうございます。長く親しまれた「父兄会」の名

を継いでおめでとうございます。

自衛隊家族会の発足にあたり

公益社団法人「自衛隊家族会」として初の新年を迎えました。全国の読者、国内外の国の守りや国際貢献に取り組む隊員各位、そして自衛隊家族会会員の皆様は年頭のご挨拶を申し上げます。

今年1月1日より「公益社団法人自衛隊家族会」(以下、「家族会」)がスタートしました。家族会の「信条」も新しくなりました。また家族会のキャッチフレーズも「隊員と家族をつなぐ」に決定致しました。現在、ロゴマークも作成中です。父兄会から家族会への名称変更は、単に名称変更にとどまるのではなく、隊員に最も身近な存在の私たち家族が、力を合わせて隊員と家族をより一層支えるための再出発であります。そのため、会員相互の絆を益々深めるとともに、会員数の増大や家族支援態勢の充実など、早急に取り組まなければならない課題も山積しております。家族会の発足にあたり、会員が心をひとつにして一歩一歩着実に前進し、家族会の新しい歴史を創っていくではありませんか。後々に、「自衛隊家族会 Since2017」と言われる2017年、自衛隊家族会の幕開けです。(下図は新たに作成中の「自衛隊家族会パンフレット」の表紙です)

今年1月1日より「公益社団法人自衛隊家族会」(以下、「家族会」)がスタートしました。家族会の「信条」も新しくなりました。また家族会のキャッチフレーズも「隊員と家族をつなぐ」に決定致しました。現在、ロゴマークも作成中です。父兄会から家族会への名称変更は、単に名称変更にとどまるのではなく、隊員に最も身近な存在の私たち家族が、力を合わせて隊員と家族をより一層支えるための再出発であります。そのため、会員相互の絆を益々深めるとともに、会員数の増大や家族支援態勢の充実など、早急に取り組まなければならない課題も山積しております。家族会の発足にあたり、会員が心をひとつにして一歩一歩着実に前進し、家族会の新しい歴史を創っていくではありませんか。後々に、「自衛隊家族会 Since2017」と言われる2017年、自衛隊家族会の幕開けです。(下図は新たに作成中の「自衛隊家族会パンフレット」の表紙です)

隊員と家族



単なる名称変更にとどまるものでなく、隊員が安心して任務を遂行できるように努めます。昨年12月には初めて、防衛省は全員が帰国する日米で、派遣隊員と家族への支援に万全の態勢を整え、和気あふましい雰囲気の中で活動がすすむことを目指してまいります。

我が国は、国家安全保障戦略で「国際協調主義に基づく積極的平和主義」を掲げ、日米同盟を基軸として

我が国が、国家安全保障戦略で「国際協調主義に基づく積極的平和主義」を掲げ、日米同盟を基軸として



自衛隊家族会 防衛情報紙



題字・依田名誉会長書

発行所 公益社団法人 自衛隊家族会 〒162-0845 東京都新宿区 市谷本村町5-1 (TEL) 03-5227-2468 (FAX) 03-5227-2473 購読料1ヶ月110円

新春特別号

- 主な記事
- ① 自衛隊家族会伊藤会長新年挨拶
 - ② シリーズ「回想録」日本史の窓から「美佐の新聞防論」「きずな」
 - ③ 「やたらからすの眼」
 - ④ 自衛隊の現場
 - ⑤ 地本コーナー
 - ⑥ 家族会コーナー
 - ⑦ 歌壇・俳壇・健康の扉
 - ⑧ 写真で振り返る平成28年

発行の趣旨

自衛隊家族会は、自衛隊員を子弟に持つ父兄を中心として、昭和51年10月30日に設立された公益社団法人「自衛隊父兄会」が、平成24年4月1日に自衛隊家族会に改称して活動している団体です。自衛隊員に最も身近な存在であることに誇りをもち、国民の先頭に立ち、自衛隊員及び家族を支援し、我が国の防衛基盤の確立に寄与する目的で活動を続けております。おやばとは、広く防衛意識の普及と高揚を図るため、家族会や防衛活動を紹介する、家族会や防衛情報紙です。

自衛隊家族会 ホームページアドレス <http://www.jkazokukai.or.jp/>

家族会のアドレス変更

「自衛隊家族会」への名称変更に伴い、メールアドレス及びホームページアドレスが変更されましたのでお知らせ致します。なお、旧アドレスは1月末日まで有効です。

メールアドレス jkazokukai@jkazokukai.or.jp
ホームページアドレス <http://www.jkazokukai.or.jp/>

家族会の本務を遂行しよう! 楽しく活動ができる工夫も

でしよう。新しい任務を付与されて遠くアフリカの地に赴く隊員の身を心配するのは、家族として当然の情です。家族として当然の情をこめてお返しをします。

この中でも十分に踏まえた点とありますが、田中派遣隊長は「法の枠組みを整備されたことを、しっかりと訓練してきた。部隊は高い練度であり何の不安もありません。朝日新聞1月24日(日)と、インタビューに答えております。また、長引く訓練を経てきた隊員にも対処できる自信を持っています。また、北方領土返還要求書運動等の国民運動にも積極的参加します。

こうした活動は本会の本務ですが、本会は個人の自由意思で入会した人の集まりです。余の運営は、和気あふましい雰囲気の中で活動がすすむことを目指してまいります。